

機械加工の可能性追求

東北中央自動車道の山形中央インター（山形市）にほど近く、仙台圏、福島圏と高速道路で結ばれる抜群の交通アクセスを有する「山形中央インター産業団地」。分譲率95%の一角に金属部品加工業川西精密(株)の本社・工場がある。「機械加工の可能性を広げたい」—新工場への思いを語る奥山崇代表取締役社長にインタビューした。

—昨年11月、創業の地山辺町の本社工場・第一工場を統合し、山形市に移転進出しました。その目的と新工場の特徴は。

奥山崇代表取締役社長 当社は1966（昭和41）年、旋盤加工を主体とするいわゆる「町工場」として創業しました。昭和56年に法人化し、事業の拡大に伴って平成元年に山辺町根際に本社・工場を、平成23年に同町山辺に第二工場を新設しました。

山形中央インター産業団地への移転新築は、工作機械部品など従来部品の生産能力の増強と、航空機産業をはじめ先端技術分野への本格的な進出を目的とするものです。移転新築に際



新工場正面玄関前に全員集合—機械加工の可能性に挑戦



5軸加工機の前で奥山代表取締役社長



アメニティ(心地良さ・快適さ)を実現した新工場

完成する2040年をめどに、国内市場を現在の10倍にあたる10兆円、世界シェアの20%を目指とする長期ビジョンを策定しています。当社が部品を供給している産業用機械加工業は中国、ベトナム、ヨーロッパ等世界規模で広がっていますが、機械加工の可能性を追求するた

め、JIS9100を県内で7番目に取得、成長が期待される航空機産業に参入しました。住友精密工業(株)（本社・兵庫県尼崎市）に部品を供給する「JAN（ジャパン・エアロ・ネットワーク）」に、県内唯一の企業として参加し、三菱航空機(株)（本社・愛知県、名古屋空港内）が商用化を目指している国産ジェット旅客機「MRJ」に搭載するランディングギア（降着装置）の部品を製造しています。

オブリーケンを目指し技術を構築すると同時に、同業企業と生き残りを掛けて連携し、共に成長していくことも重要な取り組みです。村山インダストリー俱楽部主催の「企業連携による発展性の拡大」をテーマにした勉強会の座長として、多様化するニーズに応えることのできる同業ネットワークづくりを強調しました。また、ベンチャーエンタープライズの優れた技術と連携することも、新たな可能性の追求と考えています。現在、曲面金型に超微細加工を施することで、ガラスに反射防止機能を持たせる技術を開発した「㈱IMUZAK（イムザック）」（山形市）と連携し、曇らない内視鏡や、水滴のつかない車のヘッドライトカバーなどの量産化を研究しています。

私は13年前に妻の実家でもある当社の事業を承継しました。グローバル化の影響で国内の製造業が海外に移転し、リーマンショックなども重なって、当社もまた厳しい状況に置かれていました。一方で、地方でモノづくり企業が生き残るために大幅な体質改善の好機でもありました。新工場移転を機に「挑戦する気持ち」と「構想力」で最高の機械加工サービスを提供し

して重視したのは、「アメニティ（心地良さ・快適さ）」の実現です。製造工場というモノづくりの現場はともすれば効率優先で、そこで1日の3分の1の8時間から10時間過ごす（働く）ということを後回しにしていたきらいがあります。洗面所は広く、工場は一定の温度を保ち、オフィスの2倍の明るさ。しかも内履きで作業します。リラックステームを設け、食堂は南に面した一番良い場所（山形大火を真正面に見ることができます）にあり、管理棟の床や壁を落ち着いた感じの木目調にするなど考慮しました。快適な環境の整備は、ひいては5S（整理・整頓・清掃・清潔・美）を徹底し、作業の効率化、コスト抑制につながります。

—モノづくりへの基本的な考え方は。

奥山社長 当社は工作機械部品、ボールネジ・LM（リニア・モーション）ガイドの部品、印刷機械部品の加工及びユニットの組み付けを主に生産しています。

一つひとつ育てた製品が、受注先企業やエンジニアでどのように使われ、どう評価され

ているかを意識して仕事に取り組みながら、QC（品質・Quality、価格・Cost、納期・Delivery/Time）を徹底し、私たちのコア技術である機械加工技術と組立技術、一貫生産できる管理技術のレベルアップを図っています。その基盤となるのが個々の技術力です。OJTによる現場でのスキルアップ教育はもちろんですが、技能の国家検定試験にも積極的にチャレンジし、今では現場の8割が国家資格を持っています。改善提案制度や個人の目標管理制度などと組み合わせて、一層の技術力向上に努力しています。こうした取り組みにより、受注先企業や協力工場の厚い信頼を得ていますが、さらなる信頼に応えるため、企業としてISO9001、エコアクション21を取得しています。

—成長が期待される航空機産業に参入するとともに、地元の同業者やベンチャー企業と協力態勢を築いています。

奥山社長 航空機製造業の世界市場は25兆円です。その中で日本のシェアはわずか4%程度ですが、文部科学省は、次々世代国産航空機が

川西精密(株)
代表取締役社長 奥山 崇
創業 1966(昭和41)年
住所 山形市ぐぬぎざわ西1番5
(山形中央インター産業団地内)
☎023-665-5651